

手段的日常生活動作（IADL）尺度

項目	採点
A 電話を使用する能力	
1. 自分で番号を調べて電話をかけることができる	1
2. 2, 3のよく知っている番号であればかけることができる	1
3. 電話には出られるが自分からかけることは出来ない	1
4. 全く電話を使用出来ない	0
B 買い物	
1. すべての買い物を自分で行うことができる	1
2. 少額の買い物は自分で行うことができる	0
3. 誰かが一緒にないと買い物が出来ない	0
4. 全く買い物は出来ない	0
C 食事の支度	
1. 自分で考えてきちんと食事の支度をする事が出来る	1
2. 材料が用意されれば適切な食事の支度をする事が出来る	0
3. 支度された食事を温めることは出来る、あるいは食事を支度することは出来るがきちんとした食事をいつも作ることは出来ない	0
4. 食事の支度をしてもらう必要がある	0
D 家事	
1. 力仕事以外の家事を1人でこなす事が出来る	1
2. 皿洗いやベッドの支度などの簡単な家事は出来る	1
3. 簡単な家事はできるが、きちんと清潔さを保つことが出来ない	1
4. 全ての家事に手助けを必要とする	1
5. 全く家事は出来ない	0
E 洗濯	
1. 自分の洗濯は全て自分で行う事が出来る	1
2. 靴下などの小物の洗濯を行うことは出来る	1
3. 洗濯は他の人にしてもらう必要がある	0
F 交通手段	
1. 1人で公共交通機関を利用し、あるいは自家用車で外出することができる	1
2. 1人でタクシーは利用出来るが、その他の公共交通機関を利用して外出することは出来ない	1
3. 付き添いが一緒なら、公共交通機関を利用し外出することができる	1
4. 付き添いが一緒であれば、タクシーか自家用車で外出することができる	0
5. 全く外出することが出来ない	0
G 服薬の管理	
1. 自分で正しい時に正しい量の薬を飲む事が出来る	1
2. 前もって薬が仕分けされていれば、自分で飲む事が出来る	0
3. 自分で薬を管理することが出来ない	0
H 金銭管理能力	
1. 家計を自分で管理出来る（支払計画・実施が出来る、銀行へ行くこと等）	1
2. 日々の支払いは出来るが、預金の出し入れや大きな買い物等では手助けを必要とする	1
3. 金銭の取り扱いを行うことが出来ない	0

出典元では、男性の場合C、D、Eの項目は対象外となっていたが、現在では男性についても8項目で評価することが推奨される。

採点は各項目ごとに該当する右端の数値を合計する（0～8点）。点数が高いほど自立していることを表す。

出典：M. Powell Lawton & Elaine M. Brody, Assessment of Older People: Self-Maintaining and Instrumental Activities of Daily Living, The Gerontologist (1969) 9 (3_Part_1): 179-186, doi:10.1093/geront/9.3_Part_1.179. Translated and adapted by permission of Oxford University Press (OUP)/ on behalf of The Gerontological Society of America Translation disclaimer: "OUP and The Gerontological Society of America are not responsible or in any way liable for the accuracy of the translation. The Japan Geriatrics Society is solely responsible for the translation in this publication/reprint."

オックスフォード大学出版および米国老年学会は、翻訳の正確性には一切の責任を負いません。日本老年医学会のみが単独で翻訳の責任を負います。